

日本学術会議生産農学委員会応用昆虫学分科会
第1回公開シンポジウム

昆虫科学が拓く世界

- 研究者の再結集を目指して -

期日:平成20年5月16日(金) 10:00~17:00

場所:日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

第1部 昆虫学関連学協会の活動の現状と課題

(10:00~12:05)

応用昆虫学分科会の目指す課題

委員長 山下 興亜(中部大学)

日本昆虫学会の現状と課題

学会長 諏訪 正明(北海道大学)

日本応用動物昆虫学会の現状と課題

学会長 國見 裕久(東京農工大学)

日本蚕糸学会の現状と課題

学会長 小林 迪弘(名古屋大学)

日本衛生動物学会の現状と課題

学会長 小林 睦生(国立感染症研究所)

日本環境動物昆虫学会の現状と課題

学会長 今井長兵衛(大阪市立環境科学研究所)

日本鱗翅学会の現状と課題

学会副会長 石井 実(大阪府立大学)

日本農芸化学会における昆虫研究の現状と課題

学会理事 長澤 寛道(東京大学)

日本農業学会における昆虫研究の現状と課題

学会常任評議員 宮川 恒(京都大学)

第2部 日本の昆虫学研究の現状と展望

(13:00~16:10)

昆虫学への期待

山下 興亜(中部大学)

生物多様性と群集動態

湯川 淳一(九州大学・鹿児島大学)

害虫防除と生態学

中筋 房夫(岡山大学)

衛生昆虫学と感染症研究

鎮西 康雄(三重大学・鈴鹿医療科学大学)

昆虫ゲノム研究

嶋田 透(東京大学)

昆虫機能利用と技術開発

竹田 敏((独)農業生物資源研究所)

昆虫に学ぶ科学(Entomomimetic Sciences)の創成

藤崎 憲治(京都大学)

世界の昆虫研究の動向と日本の役割

佐々木 正己(玉川大学)

第3部:パネルディスカッション (16:10~17:00)

わが国の昆虫学発展のために何をなすべきか? :

昆虫学関連学協会間の連携強化策としての『日本昆虫学連合(仮称)』の設立

司会: 國見 裕久(東京農工大学)

パネラー: 昆虫学関連学協会代表(第1部 講演者)

主催: 日本学術会議生産農学委員会応用昆虫学分科会 <http://www.scj.go.jp/ja/event/index.html>

日本衛生動物学会 日本応用動物昆虫学会 日本環境動物昆虫学会 日本昆虫学会

日本蚕糸学会 日本農芸化学会 日本農業学会 日本鱗翅学会 (五十音順)

京都大学COE(昆虫科学が拓く未来型食料環境学の創生)

後援: 日本蜘蛛学会 日本ダニ学会 日本野蚕学会

問い合わせ先: 応用昆虫学分科会幹事 嶋田 透(東京大学) TEL: 03-5841-8130

後藤千枝(中央農研) e-mail: scjentomo@naro.affrc.go.jp

参加費
無料

定員は300名です。事前登録は不要ですので直接会場にお越しください。